

近畿



近畿の景況は、輸出が足踏みしたものの、公共工事が足許増加、生産活動が回復に向けた動きとなるなど、持ち直し。

個人消費は、飲食料品や衣料品を中心に大型小売店販売が減少したものの、コンビニエンスストア販売やドラッグストア販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、上向き。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも増加するなど、上向き。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。公共工事は、国、市町村が減少したものの、独立行政法人等、府県が増加するなど、足許増加。輸出は、半導体等製造装置、電池が減少するなど、足踏み。

生産活動は、鉄鋼、金属製品が減少したものの、電気機械、輸送機械が増加するなど、回復に向けた動き。観光は、宿泊施設の客室稼働率が高水準で推移するなど、持ち直し。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢